大阪広域水道企業団放置自動車の適正な処理に関する規程をここに公布する。

平成26年2月21日

大阪広域水道企業団
企業長 竹山 修身

大阪広域水道企業団管理規程第2号

大阪広域水道企業団放置自動車の適正な処理に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、大阪広域水道企業団が所有し、又は管理する土地（以下「所有地等」という。）に放置されている自動車を速やかに除去することにより、所有地等及び企業団の施設の良好な保全と適切な維持管理を行うことを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 自動車 道路運送車両法（昭和26年法律第185号。以下「法」という。）第2条第2項に規定する自動車をいう。
- (2) 放置 正当な権原に基づき置くことを認められた場所以外の場所に相当期間置かれ、かつ、その間利用された形跡がない状態が継続していることをいう。
- (3) 放置自動車 所有地等に放置されている自動車をいう。
- (4) 所有者等 自動車の所有権、使用权又は占有権を有している者及び自動車を放置し、又は放置させた者をいう。

(警告書等の貼付)

第3条 企業長は、所有地等に放置自動車の疑いのある自動車があるときは、当該自動車の状態その他の関係事項を調査するとともに、当該自動車に警告書（様式第1号）を貼付するものとする。

2 企業長は、前項の規定により警告書を貼付した日の翌日から起算して7日を経過した日以後においても、なお所有者等が前項の警告書を確認した形跡がない場合は、当該自動車を放置自動車と認定し、撤去通告書（様式第2号）を貼付するものとする。

(移動及び保管)

第4条 企業長は、所有地等に放置自動車又はその疑いのある自動車がある場合において、次のいずれかに該当すると認めるときは、当該自動車を移動し保管することができる。

- (1) 所有地等又は企業団が管理する施設の維持管理上著しい支障があり、当該自動車を緊急に移動させる必要があるとき
- (2) 住民の安全で快適な生活環境の保全上著しい支障が生じるおそれがあるとき

2 企業長は、前項の移動及び保管を行ったときは、当該自動車が放置

自動車の疑いのある自動車の場合は移動保管周知書(様式第3号)を、
放置自動車の場合は自動車引取通告書(様式第4号)を、放置されて
いた場所に貼付し、移動及び保管を行った旨の周知を行うものとする。

- 3 第1項の移動及び保管を前条第2項の撤去通告書の貼付前に行った
場合は、前条第2項の規定にかかわらず、前項の移動保管周知書を貼
付した日から起算して7日を経過した日以後においてもなお所有者等
から連絡がない場合に、当該自動車を放置自動車と認定し、自動車引
取通告書を放置されていた場所に貼付するものとする。

(調査)

第5条 企業長は、第3条第2項又は前条第3項の規定により放置自動
車を認定したときは、当該自動車の所有者等を調査するものとする。

- 2 前項の調査において、車外からの調査では所有者等が判明しない場
合は、当該自動車が施錠されているときはこれを解除し、所有者等の
把握のために必要な最小限度において車内を調査する。

(撤去の請求)

第6条 企業長は、前条の調査により放置自動車の所有者等及びその所
在が判明したときは、速やかに、当該所有者等に対し、当該自動車の
撤去を求めるものとする。

(廃棄物としての認定)

第7条 企業長は、次のいずれかに該当するときは、前2条の調査及び
撤去請求の結果も踏まえた上、当該自動車を不法投棄された廃棄物と
して認定することができる。

- (1) 法第11条第1項に規定する自動車登録番号標、法第73条第1項に
規定する車両番号標その他これらに類する標識を滅失し又は判読が
困難な程度にき損し、かつ、車台番号を滅失し又は判読が困難な程
度にき損している場合など、所有者等の特定が困難であるとき
- (2) 第3条第2項の規定により撤去通告書を貼付し又は第4条第3項
の規定により自動車引取通告書を貼付した日の翌日から起算して14
日を経過した日以後においてもなお当該自動車が放置状態にあり、
かつ、機能の全部又は一部を滅失していること等により、自動車と
して本来の用に供することが困難であるとき
- (3) 所有者等が当該自動車の所有権を主張しないとき
- (4) 所有者等が不明又はその所在が不明の場合で、第3条第2項の規
定により撤去通告書を貼付し又は第4条第3項の規定により自動車
引取通告書を貼付した日の翌日から起算して6月を経過した日以後
においても、なお当該自動車が放置状態にあるとき

- 2 前項第2号の本来の用に供することが困難であるときとは、当該自
動車について別表の項目の欄に掲げる部品が滅失し若しくはき損し又
は項目の欄に掲げる状態に該当する場合に、当該項目に対応する同表
の点数欄に掲げる点数を加算し、その合計点が3点以上であるときと

する。ただし、同表の分類が最重要項目又は主要項目に該当する項目が一つもない場合を除く。

3 企業長は、第1項の認定を行ったときは、当該自動車に係る次に掲げる事項を公示する。

(1) 廃棄物に認定した旨及びその根拠

(2) 第3条第2項に規定する撤去通告書の貼付日又は第4条第3項に規定する自動車引取通告書の貼付日

(3) 放置されている場所（第4条第1項の規定により移動し保管している場合にあつては、放置されていた場所及び保管している場所）

(4) 車名、塗色、種別、自動車登録番号又は車両番号、車台番号のうち判明しているもの

(5) 公示の日以後の取扱い

(6) 前各号に掲げるもののほか、企業長が必要と認める事項

(処分)

第8条 企業長は、前条第1項の規定により放置自動車を廃棄物として認定したときは、当該放置自動車を処分する。

(費用の請求)

第9条 企業長は、第1条の目的を達成するため、放置自動車の移動、保管、処分その他の処理を行った場合において、当該放置自動車の所有者等が判明したときは、当該処理に要した費用を当該所有者等に請求することができる。

(公示の方法)

第10条 第7条第3項の規定による公示は、大阪広域水道企業団公告式条例（平成22年大阪広域水道企業団条例第1号）に定める方法その他必要に応じ企業長が適当と認める方法により行うものとする。

(補則)

第11条 放置自動車の取扱いについて、道路法その他の法令に規定のある場合は、当該法令等に従い処分するものとする。

(準用)

第12条 所有地等に置かれた法第2条第3項に規定する原動機付自転車の処理については、第3条から前条までの規定を準用する。

(委任)

第13条 この規程に定めるもののほか、所有地等に置かれた自動車の処理に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この規程は、公布の日から施行する。

別表（第7条関係）

分類	項目	点数
最重要項目	エンジン	各 3点
	車軸	
	燃料タンク	
	トランスミッション	
	車枠	
	ラジエーター	
主要項目	サスペンション	各 2点
	バッテリー	
	タイヤ又はホイール	
	ハンドル	
	ブレーキパッド	
	シフトレバー	
	アクセルペダル	
	ブレーキペダル	
	車検切れ（フロントガラスの検査標章等により、自動車検査証の有効期間を満了していることが判断できる場合（これらが無い場合を含む。）をいう。）	
補助項目	ボンネット	各 1点
	シートベルト	
	ワイパー	
	前照灯	
	尾灯	
	方向指示器	
	バックミラー	
	サイドミラー	
	計器類	
	座席	
	バンパー	
	ドア	
	窓ガラス	
	放置場所（山林、河川敷、廃棄物の不法投棄がされている場所その他の通常の駐車場所として想定されないものをいう。）	
	塗装の汚れ、さび等	
車内の著しい汚損（消火器のまき散らし等によるものをいう。）		

(様式第1号) (第3条関係)

警告書

ここは当企業団の土地です。自動車を置くことはできません。

この自動車の所有者、使用者又はこの自動車を放置した人は、至急、自動車を撤去してください。

撤去しない場合は、平成 年 月 日以後、当企業団においてこの自動車を処分することがあります。

なお、本件に異議等がある場合は下記まで連絡してください。

また、この自動車の所有者等に心当たりがある方は、誠にお手数ですが下記まで連絡をお願いいたします。

平成 年 月 日

大阪広域水道企業団企業長

【連絡先】

〇〇水道事業所〇〇課

電話：

所在地：

(平日午前9時から午後5時30分の間に連絡してください。)

撤去通告書

ここは当企業団の土地です。自動車を置くことはできません。

この自動車の所有者、使用者又はこの自動車を放置した人は、至急、自動車を撤去してください。

平成 年 月 日までに撤去しない場合は、大阪広域水道企業団
放置自動車の適正な処理に関する規程第8条の規定により、当企業団においてこの自動車を処分します。

また、同規程第5条第2項の規定による車内調査を行うことがあります。

なお、本件に異議等がある場合は下記まで連絡してください。

また、この自動車の所有者等に心当たりがある方は、誠にお手数ですが
下記まで連絡をお願いいたします。

平成 年 月 日

大阪広域水道企業団企業長

【連絡先】

〇〇水道事業所〇〇課

電話：

所在地：

(平日午前9時から午後5時30分の間にご連絡してください。)

(様式第3号) (第4条関係)

平成 年 月 日

大阪広域水道企業団

お 知 ら せ

ここは当企業団の土地です。この場所に放置されていた下記の自動車は、(具体的な理由)でしたので、大阪広域水道企業団放置自動車の適正な処理に関する規程第4条第1項に基づき、平成 年 月 日に移動させました。

下記自動車の所有者、使用者又は自動車をここに放置した人は至急連絡先まで申し出てください。

また、この自動車の所有者等に心当たりのある方は、誠にお手数ですが下記まで連絡をお願いいたします。

記

車 名	
塗 色	
自動車登録番号 又は車両番号	

【連絡先】

〇〇水道事業所〇〇課

電 話 :

所在地 :

(平日午前9時から午後5時30分の間に
連絡してください。)

(様式第4号) (第4条関係)

自動車引取通告書

ここは当企業団の土地です。この場所に放置されていた下記の自動車は、(具体的な理由)でしたので、大阪広域水道企業団放置自動車の適正な処理に関する規程第4条第1項に基づき、平成 年 月 日に移動しました。

下記自動車の所有者、使用者又は自動車をここに放置した人は至急連絡先まで申し出てください。

平成 年 月 日までに連絡がない場合は、大阪広域水道企業団放置自動車の適正な処理に関する規程第8条の規定により、当企業団においてこの自動車を処分します。

なお、本件に異議等がある場合は下記まで連絡してください。

また、この自動車の所有者等に心当たりがある方は、誠にお手数ですが下記まで連絡をお願いいたします。

記

車名	
塗色	
自動車登録番号 又は車両番号	

平成 年 月 日

大阪広域水道企業団企業長

【連絡先】

〇〇水道事業所〇〇課

電話：

所在地：

(平日午前9時から午後5時30分の間に連絡してください。)